

## 12 日本の祭り

### ぶんけい 文型

- 1 迷子にならないように。
- 2 からくりが始まるはずです。
- 3 遠いところを来た甲斐があります。

### にほん まつ 日本の祭り

祭りの語源は神のそばで神に奉仕するという言葉からきている。神様を迎えて、そのお告げを聞いて、歓待して送り出すのが祭りである。神楽、獅子舞、太鼓などは神を歓待するためのものである。祭りは収穫を祝った村祭りから起こったものが多い。収穫を神に感謝し人々は食べたり、踊ったり、歌ったりした。現在では昔ながらの村や町で行っていた収穫を感謝するような祭りは減ってきている。

日本人は祭りが好きで、「初詣」「節分」「雛祭り」「花祭り」「端午の節句」「七夕」「うら盆会」「彼岸」「月見」「七五三」など様々な行事がある。今ではこのうち歌ったり踊ったりする部分を祭りと考えている日本人が多い。

夏は祭りが多く、日本各地で様々な祭りが行われ、今では宗教行事というより観光の目玉として多くの人々を集めている。東北の4大祭り、青森の「ねぶた」、仙台の「七夕」、秋田の「竿灯」、山形の「花笠祭り」は有名である。徳島の「阿波踊り」も夏の名物である。また夏には小さな祭りがあちこちで行われる。

夏の夜空を彩る花火大会も各地で数多く行われるので一度は見たほうがいい。花火の技術は世界一と言われているほどである。2000年シドニーオリンピックでもアジアの代表として日本の花火が打ち上げられた。

またそのほか、豪華な山車で有名な京都の「祇園祭り」、からくり人形で有名な高山の「高山祭り」、秩父の「夜祭り」も是非見たい祭りである。

### きほんかいわ 基本会話 (^^)

男：人が多いから迷子にならないように。

女：向こうから太鼓の音が聞こえてきます。

男：あっ、御神輿が来たんだ。危ないから気をつけて。

おんな 　　こうか　　おみこし  
女：わあ、豪華な御神輿ですね。

おとこ　　きん　　つか  
男：金やダイヤモンドをたくさん使っているんだって。

おんな　　どろぼう　　と  
女：そうですか。泥棒に盗られないんでしょうか。

おとこ　　しんぱい  
男：心配ですね。

( 注 : 富岡 八幡宮 の 御輿 は 日本一 で 推定 10億円 も する 。  
<http://www.tomiokahachimangu.or.jp/htmls/maturih2.html> )

- 1 おとこ　　ひと　　まいご　　い  
男の人は「どうして迷子にならないように」と言ったのですか。
- 2 たいこ　　おと　　き  
太鼓の音はどこから聞こえてきましたか。

### おうようかいわ (^^) 応用会話

おとこ　　ひろば　　はじ　　はや　　もど  
男：広場で「からくり」が始まるはずだから早く戻ろう。

おんな　　ひと　　おお　　すす  
女：人が多くて進めません。

おとこ　　かわ　　そ　　みち　　おも　　まわ  
男：川に沿った道がすいていると思う。あっちに回ろう。

.....

おんな　　にんぎょう　　ちゅうがえ  
女：人形が宙返りしましたよ。びっくりしました。

おとこ　　きみ　　み  
男：君にこれを見せたかったんだ。

おんな　　とお　　き　　かい  
女：遠いところを来た甲斐がありました。

がいくじん　　み  
外国人もたくさん見えていますね。

たかやまつ  
( 高山祭り <http://www.hida.jp/kankou/maturi/aki/akifest.htm> )

おとこ　　にんぎょう　　み　　き  
男：きっとみんなからくり人形を見に来たんだよ。

- 1 ふたり　　とお　　ひろば　　もど  
二人はどこを歩いて広場に戻りましたか。
- 2 おとこ　　ひと　　おんな　　ひと　　なに　　み  
男の人は女の人に何を見せたかったのですか。

### ぶんぽう 文法

#### 1 ~ ように

しよるい　　あした  
書類は明日までにできあがるようにしてください。

じゅぎょうちゅう　　しず  
授業中は静かにするように。

がっこう　　ちこく  
学校に遅刻しないようにしなさい。

#### 2 ~ てきます (過去から現在) / ~ ていきます (現在から未来)

ホンさんは成績が最近よくなりました。もっと勉強したらもっとよくなって

いくに違ちがいありません。

日本にほんは機き械がいを輸ゆ出しゅつしてきた。これからも機き械がいを輸ゆ出しゅつしていくだろう。

だんだんこども子こ供どもが減へってきました。年とし寄よりが増ふえていくのです。

3 ~はずです

日本にほん語ごの試し験けんは12月じゅうにがつのはずです。

今日きょう行いくははずだったのに急きゅうに用よう事じができて行いけませんでした。

明日あしたは晴はれるはずですから、テニスをしましょう。

4 ~甲かい斐はいがある

努力どりょくの甲かい斐はいあっていい大だい学がくに入はいれました。

一いっ生しょう懸けん命めい働はたらいた甲かい斐はいがあって、給きゅう料りょうが上あがりました。

残ざん業ぎょうした甲かい斐はいがあって、書しょ類るいは会かい議ぎに間まに合あいました。

練習 (^^)

1 朝あさ早はやく起おきます 朝あさ早はやく起おきるようにしてください。

2 世せ界かいは暖あたかくなります 世せ界かいは暖あたかくなってきました。

3 独どく身しんです スミスさんは独どく身しんのはずです。

どっかい  
読解

節せつ分ぶんの時ときスミスさんは家いえの近ちかくの神じん社じゃに行いった。焼やきいか、焼やきとうもろこし、ヨ

ーヨー、おもみちやなどの店みせがたくさん出でていた。神じん社じゃのひとが「福ふくは内うち、鬼おには外そと」と

言いいながら豆まめまきを始はじめた。豆まめばかりでなくみかんやおかしなども投なげた。みんな

一いっ生しょう懸けん命めい拾ひろっていた。袋ふくろをひろくひろくささにして飛とんでくる豆まめをうけとめてい

るひともいた。とともおもしろかつた。この豆まめを自じ分ぶんの年としの数かずだけ食たべると健けん康こうにな

るさうだ。スミスさんは37さんじゅうしち食たべた。

1 どんな店みせがでていましたか。

2 何なんといって豆まめをまきますか。

3 豆まめのほかにどんなものをまきますか。

4 スミスさんは何なん歳さいですか。

ちょうかい

聴解

(^o^)

- 1 この犬はこれから大きくなりますか。
- 2 男の人はどう言えばよかったですか。

たいこ

太鼓

まつ 祭りというたいこ おと おも だ おお たいこ ちい たいこと太鼓の音を思い出す。大きい太鼓から小さい太鼓までいろいろある。  
あきたけん 秋田県にはせかいいち おお たいこ世界一大きい太鼓がある。

<http://www.akita.mmd.ntt-east.co.jp/pro/nipponiti/taiko/taiko.html>

にほんぜんこく 日本全国にはさまざまなたいこ ほぞんかい こどもたち たいこ かた まな太鼓の保存会があって子供達も太鼓のたたき方を学んで  
いる。またプロの団体だんたいもたくさんある。その中で有名なか ゆうめいなのは  
「鼓童」

<http://www.kodo.or.jp/>

「鬼太鼓座」

<http://www.ondekoza.com/>

である。

にっぽん かくち 日本各地のほか海外でも多くの公演かいがい おお こうえん おこなを行っていて、和太鼓わ たいこ ゆうそうの勇壮さに世界中の  
ひとびと かんめい 人々が感銘うを受けている。

## 答え

### 基本会話

- 1 人が多<sup>ひと</sup>いから<sup>おお</sup>です。
- 2 向<sup>む</sup>こうから<sup>おお</sup>です。

### 応用会話

- 1 川<sup>かわ</sup>に沿<sup>そ</sup>った道<sup>みち</sup>を通<sup>とお</sup>りました。
- 2 人形<sup>にんぎょう</sup>の宙<sup>ちゅう</sup>返<sup>がえ</sup>りです。

### 練習

- 1 朝<sup>あさ</sup>早<sup>はや</sup>く起<sup>お</sup>きます 朝<sup>あさ</sup>早<sup>はや</sup>く起<sup>お</sup>きるよう<sup>お</sup>にして<sup>お</sup>ください。  
ペン<sup>か</sup>で書<sup>か</sup>きます ペン<sup>か</sup>で書<sup>か</sup>くよう<sup>お</sup>にして<sup>お</sup>ください。  
写<sup>しゃ</sup>真<sup>しん</sup>は撮<sup>と</sup>りませ<sup>ん</sup> 写<sup>しゃ</sup>真<sup>しん</sup>は撮<sup>と</sup>ら<sup>な</sup>いよう<sup>お</sup>にして<sup>お</sup>ください。  
ホ<sup>ほ</sup>ームを走<sup>はし</sup>りませ<sup>ん</sup> ホ<sup>ほ</sup>ームを走<sup>はし</sup>ら<sup>な</sup>いよう<sup>お</sup>にして<sup>お</sup>ください。
- 2 地<sup>ち</sup>球<sup>きゅう</sup>は暖<sup>あた</sup>かくな<sup>り</sup>ませ<sup>ん</sup> 地<sup>ち</sup>球<sup>きゅう</sup>は暖<sup>あた</sup>かくな<sup>っ</sup>てき<sup>ま</sup>した。  
家<sup>いえ</sup>が古<sup>ふる</sup>くな<sup>り</sup>ませ<sup>ん</sup> 家<sup>いえ</sup>が古<sup>ふる</sup>くな<sup>っ</sup>てき<sup>ま</sup>した。  
携<sup>け</sup>帯<sup>たい</sup>電<sup>でん</sup>話<sup>わ</sup>を使<sup>つか</sup>う人<sup>ひと</sup>が<sup>ふ</sup>増<sup>ふ</sup>え<sup>ま</sup>す 携<sup>け</sup>帯<sup>たい</sup>電<sup>でん</sup>話<sup>わ</sup>を使<sup>つか</sup>う人<sup>ひと</sup>が<sup>ふ</sup>増<sup>ふ</sup>え<sup>ま</sup>てき<sup>ま</sup>した。  
ず<sup>こ</sup>っ<sup>と</sup>と子<sup>こ</sup>供<sup>ども</sup>の成<sup>せい</sup>長<sup>ちやう</sup>を見<sup>み</sup>守<sup>まも</sup>りませ<sup>ん</sup> ず<sup>こ</sup>っ<sup>と</sup>と子<sup>こ</sup>供<sup>ども</sup>の成<sup>せい</sup>長<sup>ちやう</sup>を見<sup>み</sup>守<sup>まも</sup>っ<sup>て</sup>き<sup>ま</sup>した。
- 3 独<sup>どく</sup>身<sup>しん</sup>です スミ<sup>どく</sup>スさん<sup>しん</sup>は独<sup>どく</sup>身<sup>しん</sup>の<sup>は</sup>ず<sup>ず</sup>です。  
歌<sup>うた</sup>が上<sup>じやう</sup>手<sup>ず</sup>です スミ<sup>うた</sup>スさん<sup>じやう</sup>は歌<sup>うた</sup>が上<sup>じやう</sup>手<sup>ず</sup>な<sup>は</sup>ず<sup>ず</sup>です。  
新<sup>しん</sup>宿<sup>じゆく</sup>に住<sup>す</sup>んでい<sup>ま</sup>す スミ<sup>しん</sup>スさん<sup>じゆく</sup>は新<sup>しん</sup>宿<sup>じゆく</sup>に住<sup>す</sup>んでい<sup>る</sup>の<sup>は</sup>ず<sup>ず</sup>です。  
留<sup>りゅう</sup>学<sup>がく</sup>した<sup>こ</sup>とが<sup>あ</sup>り<sup>ま</sup>す スミ<sup>りゅう</sup>スさん<sup>がく</sup>は留<sup>りゅう</sup>学<sup>がく</sup>した<sup>こ</sup>とが<sup>あ</sup>る<sup>の</sup>は<sup>ず</sup>ず<sup>ず</sup>です。

### 読解

- 1 焼<sup>や</sup>きい<sup>か</sup>、焼<sup>や</sup>きと<sup>う</sup>も<sup>ろ</sup>こ<sup>し</sup>、ヨ<sup>よ</sup>ー<sup>よ</sup>ー、お<sup>も</sup>ち<sup>ゃ</sup>な<sup>の</sup>店<sup>みせ</sup>です。
- 2 「福<sup>ふく</sup>は<sup>うち</sup>内<sup>おに</sup>、鬼<sup>おに</sup>は<sup>そと</sup>外<sup>そと</sup>」です。
- 3 豆<sup>まめ</sup>や<sup>か</sup>み<sup>か</sup>ん<sup>し</sup>や<sup>か</sup>お<sup>し</sup>菓<sup>し</sup>子<sup>し</sup>な<sup>ど</sup>です。
- 4 3 7 歳<sup>さんじゅうななさい</sup>です。

### 聴解

- 男<sup>おとこ</sup>：この犬<sup>いぬ</sup>、大<sup>おお</sup>きく<sup>な</sup>っ<sup>て</sup>い<sup>く</sup>ね。
- 女<sup>おんな</sup>：も<sup>う</sup>こ<sup>れ</sup>か<sup>ら</sup>は<sup>大</sup>き<sup>く</sup>な<sup>ら</sup>な<sup>い</sup>わ<sup>よ</sup>。
- 男<sup>おとこ</sup>：そ<sup>う</sup>だ<sup>ね</sup>。
- 女<sup>おんな</sup>：え<sup>っ</sup>? 今<sup>いま</sup>こ<sup>れ</sup>か<sup>ら</sup>大<sup>おお</sup>き<sup>く</sup>な<sup>る</sup>っ<sup>て</sup>言<sup>い</sup>っ<sup>た</sup>で<sup>し</sup>ょう?

おとこ い おお い  
男：言わないよ。大きくなったと言ったんだ。

いちねんまえ ちい  
1年前はとても小さかったよね。

おんな おお い  
女：そういうときは大きくなってきたと言わなければ。

おとこ おお おお い  
男：大きくなっていくじゃなくて大きくなってきたと言うの？

おんな  
女：そうよ。

1 いいえ。

2 「この犬いぬ大きくなってきたね」です。